|  |  |
| --- | --- |
| 整理番号（研究所が記入） |  |
| 申込日付 |  |
| **（別紙様式09）2025年度名古屋大学宇宙地球環境研究所「加速器質量分析装置等利用（共同利用）」申請書** |
| (1) 研究代表者 |
| 氏名 |  | 職名 |  |
| 所属機関 |  |
| 部局 |  |
| E-mailアドレス |  |
| (2) 所内受入責任教員の氏名 |  |
| (3) 研究課題名 |
| 和文 |  |
| 英文 |  |
| (4) 関連する専門委員会（次の1–7から1つ選んで数字を記入） 「超学際ネットワーク形成」を推進する研究として申請する場合は、7を記入 |  |
| 1: 総合解析、2: 太陽圏宇宙線、3: 電磁気圏、4: 大気陸域海洋、5: 年代測定、6: 航空機利用7: 超学際ネットワーク形成 |
| (5) 融合研究・萌芽研究の提案（該当するものを選んで１を記入。選択なしも可） |
|  | 融合研究 |  | 萌芽研究 |
| (6) 新規･継続の別（該当しないものを消す） | 期間 |
| 　　新規　・　継続 | 　　年計画の　　年次 |

|  |
| --- |
| (7) 関連プロジェクト（科研費等） |
| 課題名 | 課題番号 |
|  |  |
| (8) 研究分野（該当する研究分野に１を記入。複数選択可） |
|  | 地球科学 |  | 考古・歴史学 |
|  | 環境科学 |  | 文化財科学 |
|  | 地理学 |  | 人類学 |
|  | 古気候学 |  | その他（　　　　　　） |
| (9) 研究体制（宇宙地球環境研究所の受入責任教員を含めてください） |
| 氏名 | 所属機関、部局 | 職名 | 具体的な役割 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

以下、フォントサイズは10〜11pt、各項目の行数は変更可能。ただし、(10)～(15)で１頁以内に収めること。

|  |
| --- |
| (10) 研究の概要（研究目的・意義、加速器質量分析の必要性等を簡潔にまとめてください。また卒業論文等の執筆に関わる研究課題は、該当学生の氏名を明記の上、下記の欄にチエックをしてください。） |
|  |
|
|
| 該当するものに１を記入 |
|  | 卒業論文 |  | 博士論文 |
|  | 修士論文 |  |
| 提出者 | 提出期限 |
|  | 　　年　　月 |
| (11) 実施計画（試料の種類・個数、試料調製室の利用時期・利用者、本研究所の教員も含めた研究の役割分担、他の経費との関連等について簡潔に記述してください。天然記念物など、採取に際し、法令等の遵守が義務づけられている試料の場合は、その旨を明記してください。） |
|  |
|
|
| 利用設備・期間（該当するものに１を記入。複数選択可） |
| （設備） | （期間） | （予定試料数） |
|  | 化学前処理室 | 　　～ |  |
|  | グラファイト化ライン | 　　～ |  |
|  | 二酸化炭素精製ライン | 　　～ |  |
|  | タッゲットプレス装置 | 　　～ |  |
|  | その他の設備 | 　　～ |  |
| (12)「超学際ネットワーク形成」を推進する研究として応募する理由（(4)で、7を記入した場合） |
|  |
|
| (13) 融合研究・萌芽研究についての具体的な説明（(5)で選んだ項目がある場合） |
|  |
|
| (14) 本課題までの準備状況（新規課題の申請時）または本年度までの進捗状況（継続課題の申請時）、継続課題の場合は、本研究課題に関わる学術成果（論文・学会発表等）を含め記述してください。 |
|  |
|
| (15) その他（試料調製等についてのご要望があれば記述してください。） |
|  |
|